

運転者への点呼作業の自動化で運行管理をスマートに

呼気アルコール検知システム『ALCFaceAir』に新機能を実装

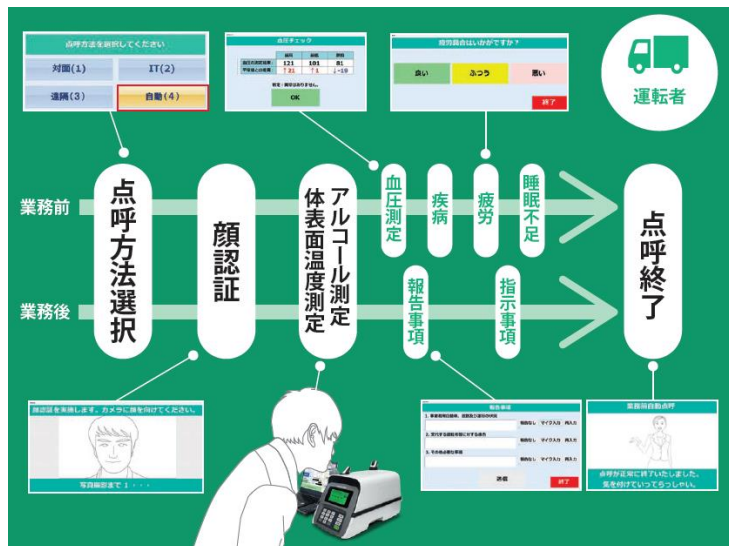


サンコーテクノ株式会社（本社：千葉県流山市／代表取締役社長：洞下 英人）は、業務上の飲酒運転を防止する遠隔点呼システム『ALCFaceAir（商品名：アルコフェイスエアー）』に自動点呼機能を追加し、2026年1月5日（月）より販売します。

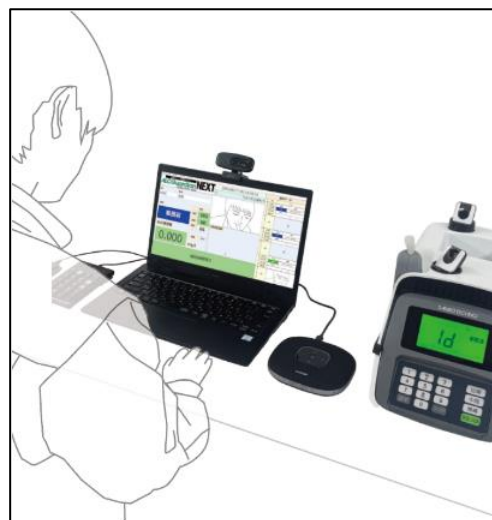
自動点呼機能は、運転者の健康状態の把握と記録の保存をシステム上で完結させ、運行管理者の業務効率化を図るとともに、点呼漏れや記録ミスといった人的ミスの防止にも効果を発揮します。物流のDX（デジタル・トランスフォーメーション）を促進することで、業界が抱える人手不足などの課題解決に貢献します。

■新機能について

自動点呼機能はICT（情報通信技術）の力で点呼業務を一気通貫で自動化します。運転者の点呼を運行管理者がリアルタイムで確認する必要はなくなり、顔認証での本人確認からアルコール測定、血圧や睡眠時間などの健康記録の保存までをシステム上で行います。



▲点呼フロー（一部抜粋）



▲点呼イメージ図

■開発の背景

『ALCFaceAir』は昨年、遠隔点呼システムとしてリリースしました。同システムは運転者の点呼を顔認証と動画確認で取ることが可能でしたが、運行管理者の動画確認と記録保存の作業が発生していました。管理者の負担を軽減するため、国が定める自動点呼機能の要件を満たし、一連の流れを自動化することが求められていました。そこで当社は点呼場所の制限付きで要件を満たすシステムを開発、機能を追加する運びとなりました。※2025年11月現在、当社が満たす要件の点呼場所は営業所と車庫に限られますが、将来的には制限解除を目指します。

■システムのメリット

このシステムは運転者の健康状態を確実に把握し、事業者の健全な事業環境を整えます。顔認証では、なりすましなどの不正を予防します。アルコール測定時には体表面温度測定を同時に行います。また、遠隔と自動点呼機能を併用できるのも特長の一つです。自動点呼でアルコールが検出されるなど問題が生じた際に、対面点呼ではなく遠隔点呼に切り替えることで対応ができます。それぞれの事業形態に合わせ、柔軟な運用が可能です。

『ALCFaceAir』は、国土交通省が定める業務前・業務後自動点呼機器として認定を受けており、いずれにも対応ができます。（業務前自動点呼認定番号：JM25-006／業務後自動点呼認定番号：JG25-021）

■今後の展望

当社はアルコール検知器および検知・点呼システムの提供を通じて、飲酒運転の抑止力となり、社会の安全と安心に貢献する取り組みを推進します。

■販売目標（初年度）

1億円

■価格

〈基礎費用〉

基本料金（月額使用料／1事業所当たり）	13,000円（税抜）
初期費用（クラウド環境構築費／1社当たり）	100,000円（税抜）

〈新規購入〉

ALCFaceAirセット	500,000円（税抜）
血圧計連動ソフト	100,000円（税抜）

〈当社アルコール検知器（ST-3000Guardian）をすでに導入している場合〉

ALCFaceAirバージョンアップセット	180,000円（税抜）
血圧計連動ソフト	100,000円（税抜）

■プレスリリースに関するお問合せ先

サンコーテクノ株式会社 経営企画室

Tel：04-7192-6637 ／ Mail：st-webmaster@sanko-techno.co.jp

■商品に関するお問合せ先

サンコーテクノ株式会社 機能材本部（フリーダイヤル）

Tel：0120-071-735 ／ Mail：kinouzai_support@sanko-techno.co.jp

本プレスリリースは、これまでに弊社広報担当と名刺交換をさせていただいた報道関係者にお送りしています。

今後、弊社プレスリリースをご希望されない場合は、お手数ですが上記のお問合せ先までご連絡ください。